本奨学金に応募した理由

私が貴奨学金に応募した理由は鹿児島の農業をさらに活性化させたいからです。私は鹿児島工業高等専門学校で5年間制御技術を学びました。制御技術は電気電子工学や情報工学などを融合させた総合的な分野です。進学先の大学では、制御技術と農業の融合についてより深く知識を身に付けたいと考えています。これは比較的新しい分野で日本の農業をより活性化させる可能性を秘めています。そして鹿児島に帰り、大学で学んだ制御技術を応用して、鹿児島の第一次産業を発展させていきたいです。

奨学金をどう使うか

私は貴奨学金を専門書の購入や実験機材の購入に充てるつもりです。技術を身に付けるには、授業で教えられたことを応用して自分で物を作ることが重要だと考えています。それらを実行するには専門書や実験機材の購入は必須です。そうして身に着けた技術を将来的に鹿児島へ還元していきたいと思っています。

鹿児島の農業・水産・畜産および鹿児島の将来について自分が貢献できること。将来の夢・目標など

私の夢は、おいしい鹿児島県産の農作物を未来にのこすことです。そのために私ができることは、県外の大学で深めた制御技術の知識を鹿児島に還元することだと考えています。その具体的な方法として、新型農作業機械の開発を考えています。

現在、若者の職業観に変化が生じており、お金儲けよりも社会貢献したいといった人が増えています。その結果、若者の農業への関心が高まっています。しかし、関心の高まりに比べて若者の新規就農数は増加していません。それどころか、新規就農者の約3割が2年以内に農業をやめているのが現状です。この原因は、農作業は重労働で初心者には難しいといった一般イメージや、経験不足による農作業機械操作のミスなどが挙げられます。私はこれらの問題は農作業機械の進化で対応できると考えています。たとえば、新規就農者で農作業に慣れていない人が農作業機械で作業するときは機械が作業者をサポートしたり、農業初心者が犯しやすいミスを農作業機械が未然に防ぐといった事が考えられます。このように農作業機械を通して農業初心者の方々をサポートできれば、新規就農者の経験不足からくる作業ミスや若者が抱く農作業への負のイメージが軽減されると考えられます。その結果、今よりもさらに若者の農業に対する関心は増え、新規就農者数も増加し、農産業全体が活性化していくと期待しています。そのことにより、鹿児島の農業も発展していき、未来でもおいしい鹿児島県産の農作物は食べられ続けられると思います。そのような未来を実現させるために大学でより一層勉学に励んでいきたいと思います。